

宇宙史拠点実習説明会

実習先: セルン研究所

実習期間: 3月4日 ~ 3月24日

本日のアジェンダ

1. 実習における全般的な説明
 - 下村(このスライド)
 2. 課題内容の説明
 - 下村・洞口・三明・江角
 3. 質疑応答
-

基本情報 1

- 場所 スイスとフランスの国境にまたがってあるセルソ研究所
- 期間 2010年3月4日～3月24日
- 現地スタッフ(ALICE) 下村
- 宿泊施設 メインサイト内のホステル(スイス)
- 研究居室 メインサイト内(スイス)
- 実験施設 ALICE(フランス)、ATLAS(スイス)
- 移動手段 レンタカー・バス・自転車
 - 国境を越えることが多いのでパスポートとIDを常に携帯すること。

基本情報 2

- 参加者

- ALICE 前橋秀紀、木村瑞希、長崎岳人
- ATLAS 高橋優介、深見智代、黒川悠文

- 参考WEB

- http://utkhii.px.tsukuba.ac.jp/HU_Course/
 - http://utkhii.px.tsukuba.ac.jp/~maya/uchuushi_cern_maya_HP/
-

研究生生活

- 各自のノートPCを持参(要アダプタ)
 - ネットにつなげるセットアップ
 - 今回はサマースクールのようなプログラムがないので、ワークショップやセミナー、解析グループごとの発表ミーティング等に積極的に参加することをおすすめします。
 - 解析課題を一つ選び、最後に研究内容の発表を行う。
 - 発表会 3月22日頃
 - スカイプ等を使い毎週進捗状況を報告
-

実習内容

1. アリスのシフトを中心とした実験データ取得やモニタリング
 - 基本担当者 下村
2. EMcalキャリブレーション
 - 基本担当者 洞口
3. Dcalのシミュレーション
 - 基本担当者 三明
4. 900GeV p+pデータの解析2part.corr.
 - 基本担当者; 洞口、渡邊、江角
5. PHENIXの解析; run7のv2解析, CuCu64GeVの解析
 - 基本担当者; 下村、江角

実習内容の選択

(1) アリスのシフトを中心とした実験データ取得やモニタリング
基本担当者 下村

- シフトを取りながらデータを見る。
- alieveが使えること。
- データへのアクセス。
- データのダウンロード。
- イベントモニタリングシフト
- pp 900GeV のbasicな値をチェックする。
- 荷電多重度の分布。
- エータ分布。
- 断面積。

(2) EMcalキャリブレーション

- 基本担当者; 洞口
 - 電磁カロリメータ
 - パイゼロのピーク
 - geometry calibration
 - TPC のデータを使って改良したい
-

(3) Dcalのシミュレーション、

- 基本担当者; 三明
 - q-Pythiaの計算
-

(4) 900 GeV p+pデータの解析 2part.corr.

- 基本担当者; 洞口、渡邊、江角
 - p+p反応平面等
-

(6) PHENIXの解析; run7のv2解析,
CuCu64GeVの解析

基本担当者; 下村、江角
